

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月

国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 担当者

2. 学校概要

学校名 国立大学法人宮城教育大学

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 980-0845

仙台市青葉区荒巻字青葉 149 番地

E-mail : _____

Website : _____

児童生徒数：男子 638 名 女子 884 名 合計 1522 名

児童・生徒の年齢 18歳～成人全般

3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 持続発展教育（ESD）（国際理解 世界遺産 平和・人権 環境 気候変動
生物多様性 エネルギー 防災 食育 伝統文化 そのほか（ ）
- そのほか（ お米 ）

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

(1) ユネスコバンコクオフィス主催「教員養成に EFA と ESD の要素を浸透させるためのナショナルワークショップ」

実施日；2011年3月28日～4月1日

場 所：フィリピン（フィリピン大学）

ユネスコバンコクオフィスが、ESD と EFA の理念を初等中等教育レベルで浸透させるためにタイ、フィリピン、ベトナムで開催している“National Workshop on Reorienting Teacher Education towards EFA and ESD ”のフィリピンで開催された会合において、日本の地域における ESD の実践を優良事例として紹介した。フィリピンの各地域から 30 名の現職教員が参加した。

(2) ユネスコバンコクオフィス主催「教員養成に EFA と ESD の要素を浸透させるためのナショナルワークショップ」

実施日；2011年4月25日～4月29日

場 所：タイ（ホテルウィンザースイート）

ユネスコバンコクオフィスが、ESD と EFA の理念を初等中等教育レベルで浸透させるためにタイ、フィリピン、ベトナムで開催している“National Workshop on Reorienting Teacher Education towards EFA and ESD ”のタイで開催された会合において、日本の地域における ESD の実践を優良事例として紹介した。タイの各地域から 30 名の現職教員が参加した。

(4) RICE プロジェクト・リーダー研修会

実施日：2011年8月5日～8月7日

場 所：東北大学・川渡研修セミナー

ユネスコスクールのアジア地域での学校間交流を進めるために、ASPUnivNet（ユネスコスクール支援大学間ネットワーク）は、「おこめ RICE」をひとつのテーマとして、8月5日（金）～7日（日）に、東北大学川渡セミナーセンター・川渡フィールドセンターにおいて、標記研修会を開催した。8月5日午後から、川渡フィールドセンターの【田んぼ】を活用し、生きもの調査や田んぼの教育への活用の意義などを議論、6日は、参加者の活動実践報告、専門家によるパネルディスカッション、プログラム作成ワークショップ、7日は、海外ユネスコスクールの取り組み報告、海外との交流にむけたワークショップを行い、全国から関係者約 30 名が参加した。三日間の研修を終えた参加者は、国内のユネスコスクール関係者との交流を深めた。

(5) 地域遺産／小学校英語教育研修

実施日：2010年8月7日～24日

場所：オーストラリア・CQ(セントラルクィーンズランド)大学

協定校の CQ(セントラル・クィーンズランド)大学で教員研修を行った。本年は、持続発展教育の理念を核とし、CQU ランゲージセンターにおいて日本の教育システムと地域の文化を紹介することと、小学校で教育実習をすることを目標として研修を行った。仙台市、名取市、石巻市、蔵王町、福島県いわき市から 6 名の現職教員と大学院生が参加した。

(6) 第 4 回未来づくり ESD セミナー「震災復興と学校・地域の未来づくり」

日 時：2011 年 9 月 10 日 (土)

場 所：宮城教育大学

9 月 10 日 (土)、宮城教育大学において、本学教育復興支援センター、仙台広域圏 ESD・RCE 運営委員会、国際協力機構東北支部 (JICA 東北) 主催の、大震災後の学校づくりを考える標記セミナー「震災復興と学校・地域の未来づくり」を開催した。3 月 11 日の東日本大震災から 6 ヶ月が経ち、今回は、「Step 1 知る」で、宮城県気仙沼市立鹿折小学校から昆野光行教諭と陸前高田市立気仙中学校から中里勝明教諭の学校現場の報告があり、その後、インターネット中継によるインドネシ・アチェ州、中国・四川省から過去に発生した震災への思い、被災地における教育・心のケア活動などの報告があった。「Step 2 考える」では、京都大学大学院地球環境学堂・国際環境防災マネジメント論分野 ショウ・ラジブ氏による「学校防災と地域防災のつながり」の講演があった。当日、奈良教育大学・加藤久雄副学長 (本年度 ASPUnivNet (ユネスコスクール支援大学間ネットワーク) 事務局) や、山形からの高校生など約 70 名の出席があり、「Step 3 行動する」で、気仙沼市、陸前高田市、中国、インドネシアの 4 つのグループにわかれ、一人一人が震災に対する思いを話し合った。国際協力機構東北支部 (JICA 東北) と共催で開催した今回のセミナーでは、海外の過去の事例から学び、東日本大震災地域から世界に情報を発信し、今後の行動につなげていきたい。

(7) 宮城教育大学舞踊発表会—地域の伝統と教育—

実施日：2011 年 9 月 23 日

場 所：塩竈市壺番館

塩竈市壺番館にて、「宮城教育大学舞踊発表会～地域の伝統文化と教育～」を開催しました。この発表会は、地域の伝統文化 (民俗芸能・舞踊) を教育に取り入れている学校が集まって、取り組みについての実践内容と成果の発表 (今回は、本学「さんさ踊り」・気仙沼市「廿一田植踊」保存会・栗原市立富野小学校「鶏舞」・仙台市立根白石小学校「アセ踊り」・尚絅学院大学「西馬音内盆踊り—音頭—」の五校と 2009 ユネスコ無形文化遺産登録となりました「早池峰岳神楽」の特別出演) をするもので、文部科学省・特別経費「東北の地域遺産を活用した地域と世界を結ぶ持続発展教育の推進」プロジェクトによって実施しました。今回、東日本大震災の被災地で開催することにより、被災からの復興を祈願するとともに、「地域の文化遺産を教育に取り入れ、子どもたちがそれを継承することにより地域を活性化し、持続可能な地域を創ることに貢献する」という持続発展教育 (ESD) の理念と、ユネスコの「世界遺産・地域遺産」教育推進の理念を、地域において推進したいと考えています。参加者総計 250 名。

(8) 第3回ユネスコスクール全国大会(参加)

実施日：2011年11月12日

場 所：東京海洋大学

東京海洋大学(品川キャンパス)において開催の第3回ユネスコスクール全国大会(主催：文部科学省 日本ユネスコ国内委員会)へ参加した。大会テーマは「ESDの進化と拡充」、主な内容は、テーマ別交流研修会、研究授業、シンポジウム、展示、情報交換会であった。東京都江東区立八名川小学校による「6年生の総合的な学習の時間の実践について」の研究授業では、東京海洋大学客員准教授”さかなくん”を特別講師にむかえ、江戸前の豊かな海の生き物などについて、児童たちへの質問・得意の魚の絵を交えた楽しい研究授業となった。また、気仙沼市教育委員会副参事・及川幸彦氏から、東日本大震災校支援に対するお礼があった。

(9) ユネスコスクール全国大会 サイドイベント「RICE プロジェクト」

実施日：2011年11月13日

場 所：東京海洋大学品川キャンパス

宮城教育大学は日本/ユネスコ・パートナーシップ事業「RICEプロジェクト【国内の学校間交流活動】」をこのほど東京海洋大学で開催した。第一部では、ASPUivNetの事務局代表・奈良教育大学の長友恒人学長、文部科学省国際課国際協力政策室長の浅井孝司氏の挨拶の後、ACCU事業部次長柴尾智子氏によるRICEプロジェクトの紹介、8月に宮城県で行われた「リーダー研修会」参加者による報告が行われた。第二部では、学校関係者を中心とする参加者が「小学校」、「中学校」、「高校」の三つのカテゴリーに分かれ、グループワーク「おこめのESDカレンダーを作ろう」に取り組んだ。参加者は「米づくり」を学校のプログラムに盛り込むことを想定し、「どのような体験をさせるか」、「どの教科と関連づけるか」、「どのような力が身につくか」などを話し合い、年間カレンダーを作成し、各グループの発表、質疑応答が行われた。11月12日の「第3回ユネスコスクール全国大会」のサイドイベントとして開催されたこともあり、事前申込をはるかに上回る約百名が参加するなど、有意義なものとなった。

(11) ユネスコスクール地域交流会 in 気仙沼

実施日：2012年1月18日 9:00~18:00

場 所：気仙沼ホテル観洋

経 費：日本/ユネスコ・パートナーシップ事業経費ほか

気仙沼市において、1月18日に【学校&みんなのESDプロジェクト2011】平成23年度文部科学省「日本/ユネスコ・パートナーシップ事業」～ユネスコスクール地域交流会 in 気仙沼～が開催された。本地域交流会の主催は、文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)、気仙沼市教育委員会、宮城教育大学と東北大学大学院環境科学研究科が共催した。宮城教育大学やこの地域交流会を後援した仙台広域圏ESD・RCE運営委員会は、第7回未来づくりESDセミナーとして位置付け、出席した。地域交流会には、フルブライトメモリアル基金MTPプロジェクト等で気仙沼地域と連携してきたテキサス州カリスバークから校長と元教員の2名と、国連大学主催AC

未来づくりESDセミナー

平成23年6月4日（土）、仙台広域圏ESD・RCE運営委員会と宮城教育大学が主催して、第1回未来づくりESDセミナー「震災復興と学校・地域の未来づくり」が宮城教育大学で開催されました。

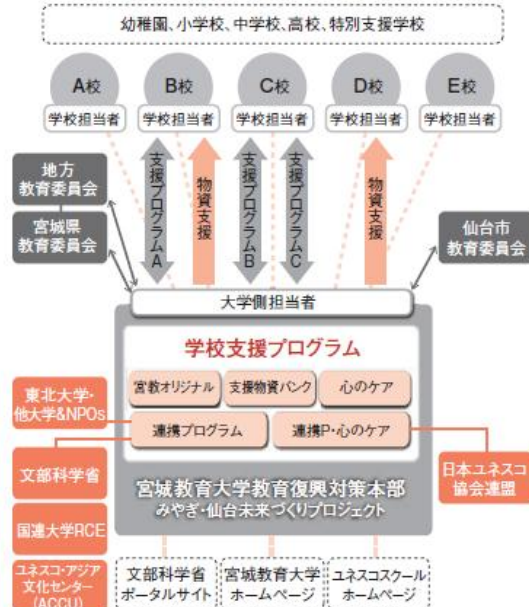
仙台広域圏RCE

RCE (Regional Centre of Expertise on Education for Sustainable Development) は国連大学が認定する、地方や地域のコミュニティでESDを広めるための分野横断的なステークホルダーからなる地域拠点です。仙台広域圏は2005年に世界で最初にRCEに認定された地域の1つであり、4地域2大学の代表者と宮城県、仙台市、企業、NPO等が参加し仙台広域圏ESD・RCE運営委員会を組織しており、各地域で学びあいセミナーを行うなどさまざまな活動を行っています。

みやぎ・仙台未来づくりプロジェクト

宮城教育大学では、教育復興対策本部の中に、「みやぎ・仙台未来づくりプロジェクト」をつくって、学校や

図 宮城教育大学学校支援の概要



幼稚園の支援を行っています（図参照）。これらの支援は、宮城県震災復興基本方針、仙台市震災復興方針、その他、各地方自治体の基本方針に則して宮城教育大学が進めています。

第1回未来づくりESDセミナー概要

6月4日（土）に宮城教育大学で開催された、第1回未来づくりセミナーでは、宮城教育大学の学生・教職員、教育行政関係者、NPOや企業の関係者など400名を超える多数の参加がありました。気仙沼市教育委員会及川幸彦副参事、石巻市立雄勝中学校佐藤淳一校長、仙台市立荒浜小学校川村孝男校長、亶理町長瀨小学校渡辺清孝教頭から、震災発生から現在までの被災地の状況についてそれぞれ報告がありました。その後、現地報告者らによるパネルディスカッションが行われ、地域社会の状況や、学生、ボランティアに対する要望などについて活発な議論が行われました。



第1回未来づくりセミナーの様子

問い合わせ先

宮城教育大学研究・連携推進課研究協力係

TEL : 022-214-3856

e-mail : kenkyo@adm.miyakyo-u.ac.jp

(参考資料)

気仙沼ESD共同研究紀要

「持続可能な社会を担う児童・生徒の育成をめざして」

http://www.unesco-school.jp/?page_id=54

以下につきましては、該当する取組を実施した場合のみ
記載をお願いします。

- 実施テーマにおける教材の工夫や授業手法における工夫。

おこめの ESD カレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	卯月	皐月	水無月	文月	葉月	長月	神無月	霜月	師走	睦月	如月	弥生
体験 実践 活動	種まき 代かき 除草						稲刈り	脱穀	伝統的な食文化			
関連 する 教科	生活(1年) くさばなをそでよう ・やさいをそでよう	生活(2年) まちをたん けんしよう	社会(4年) 馴染單元 (郷土の馴染)	社会(3年) 〇〇農家へ行ったよ	社会(4年) -米とわたしたちのくらし -海沿のくらしと山沿のくらし	道徳(2年) 「米」という漢字の まじりなちがひを調べる	道徳(2年) 和歌 「秋の田の...」	社会(4年) 残したいもの 伝えたいもの	生活(5年) 米作りを調べよう	理科(5年) 花と美	理科(5年) 生き物を育てよう	社会(4年) ごはんと みそじる
身につ けさせ たい力	社会(6年) アジア圏における 米作文化の伝播	国際発見能力 責任を重んじ る態度	日本がアジア文化圏 の一員であることの 自覚→国際的連帯感 の育成	コミュニケーション能力	生物多様性への 洞察	つながりを尊 重する態度	多面的・総合的 に考える力	批判的に思考・ 判断する力	他者と協力す る態度			社会(5年) 道徳 (森林を中心に)
												総合 ふるさと学習

- 実施テーマに関連した研究旅行の実施。

オーストラリア教員研修 2011年8月4日～27日

オーストラリアESDインターンシップ研修 2012年2月22日～3月15日

- 他国の学校との交流や相互協力の実施。(交流した国、学校名の記載もお願いします。特に相手校がASPネットワークに参加している場合は、その旨も記載願います。)

韓国ユネスコ国内委員会と「お米プロジェクト」の連携

ドイツユネスコスクールネットワークから届いた震災応援メッセージが、仙台七夕祭りに参加。



□ 国連やユネスコが取り組む国際的な記念日、国際年、国際的な10年を記念する取組の実施。(国際母語の日、国際天文年、識字の10年など)

グリーンウェイブ活動 2011 を開催 (5 月 20 日・金)

グリーンウェイブ活動を 5 月 20 日 (金) に開催した。本学においては、一昨年からの活動を実施しているが、今年は、3 月 11 日の「東日本大震災」後のため、各地域で「グリーンウェイブ活動」の取り組みが可能かと危惧する声もあったが、こんな時こそ実施すべきと、本学・附属小学校、気仙沼市地域、大崎市田尻地域、富谷町、東北大学大学院環境科学研究科、仙台市八木山動物公園などが各地域で開催した。本学の植樹には、「仙台広域圏 ESD プロジェクト」(本学が事務局を担当)のメンバーである、宮城県環境政策課及び仙台市環境都市推進課の方や、本学へ留学中のガーナ、モンゴル、インドからの留学生も参加した。一昨年に萩 3 本を植樹したバタフライガーデンに、更に萩 5 本を追加植樹し、その場所を将来『萩の丘』とする計画である。また、昨年同様の「いのちの粘土団子」・「バケツ稲」も実施予定である。今後、東北地方の地域再生を目指し、持続的な活動となるよう継続して実施していくこととしている。